

## 経済学研究科 現代経済システム専攻 博士前期課程

### 【教育目標】

経済学研究科現代経済システム専攻は、様々な課題に直面している日本経済のなかにあつて、日本経済の将来について専門的視点をもってしっかりと担うことのできる人材養成を目指します。本専攻は、経済システム、経済理論、データ分析についての高度な学識を修得させることによって、総合的な分析・企画・実務能力を兼ね備えた人材を育成することを目標にしています。

### 【ディプロマ・ポリシー】

本専攻では、専門分野に関する高度な知識を身につけ、カリキュラムに則って所定の単位を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査を受け、合格した者に修士（経済学）の学位を授与します。

1. 現代の社会、経済の問題について、多角的な視点で論理的に考察をおこなうことができる。
2. 専門的で総合的な分析力、企画力、実務能力を修得している。
3. 経済システム、データ分析、経済理論についての高度な学識を身につけている。
4. 専門分野において明確な研究テーマについて、先行研究を詳細に考察し、資料・データを適正に分析して高度で独創的な研究論文を作成することができる。

### 【カリキュラム・ポリシー】

本専攻では、経済の理論と実践についての高度な学識を修得することによって、総合的な分析・企画・実務能力を兼ね備えた人材を育成するという教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施します。

1. 経済システム、データ分析、経済理論についての高度な学識を身につけることができるよう体系的な科目を提供する。
2. 1年次に演習Ⅰ、2年次に演習Ⅱを設定し、各専門分野において明確な研究テーマについて、先行研究を詳細に考察し、資料・データを適正に分析して高度で独創的な研究論文を作成することができるよう、指導教員が指導をおこなう。
3. 修士論文の作成にあたっては、2年次に中間論文報告会を実施し、指導教員とともに様々な分野の教員が指導をおこなう。
4. 完成論文の発表をおこなう論文報告会を実施し、より完成度の高い論文を目指す。

### 【アドミッション・ポリシー】

本専攻は、急速な構造の変化を起こす現代社会において、多角的な観点をもって経済を分析し、問題解決に取り組もうとする意欲ある学生に広く門戸を開いています。大学院生が、日本経済の将来を、専門的視点をもってしっかりと担うことができることを目指して、高度な学識を修得し、総合的な分析・企画・実務能力を身につけることを目指します。

上記の点を踏まえて、本専攻では以下のような方々の入学を希望します。

（求める学生像）

1. 自然を愛し、旺盛な探究心をもって広い視野で積極的に研究に取り組む意欲のある方。
2. 経済システム、データ分析、経済理論についての土台（基礎）を有しており、さらに深く学びたい方。
3. 大学院で、総合的な分析・企画・実務能力を身につけて、専門的職業でより一層活躍したい方。
4. 現代の社会、経済の問題について、多角的な視点で論理的に考察することができる力を身につけたい方。

(選抜方法)

入試名称 求める学生像	推薦	一般	社会人	留学生
1		○		○
2	◎	○		○
3	○	○	◎	○
4	◎	◎	◎	◎

改正 2021年3月24日